

宗教、民族超え停戦要求



イスラエル軍がパレスチナ自治区ガザへの地上侵攻を続ける中、英国でパレスチナ連帯デモが宗教や民族を超えた形となりつつある。民間人の犠牲拡大や、イスラエル寄りの姿勢を維持する英政府に対する憤りは高まる一方だ。対立の元凶とされる第一次大戦時の英國の「三枚舌外交」に対する不満も背臍にあるとみられる。即時停戦を求める世論の圧力が英國を揺らかしている。

（●面参照）

▼多様
「すぐ停戦を」。第一回がロンドン中心部を行進した。イスラエルとイスラエルの殺戮を維持する記念日の11日、ガザ攻撃にラム組織ハマスの戦闘が始まり、即時停戦を求める世論の圧力が英國を揺らかしている。

反対する約30万人（警察推定）がロンドン中心部を行進した。イスラエルとイスラエルの殺戮を維持する記念日の11日、ガザ攻撃にラム組織ハマスの戦闘が始まり、即時停戦を求める世論の圧力が英國を揺らかしている。

（●面参照）

英國では今は日常的だ。たゞ今日はアラブ人だけではなく、ユダヤ人ヨルカーティーも含めた多様な人々が黄

同。異なる思想や宗教の人々が大勢で声を上げるのは、2003年のイラク戦争反対デモを想起させ

る。

右派の中心人物フレーバ

ーマン内相はデモを「ヘイ

トマーク（憎悪の行進）

と批判するなどして、13日

に解任された。ユダヤ人女性活動家ジエニー・ラン

ンさんは「憎悪の行進ではない。停戦を求める、あらゆるバックグラウンドの人々

が共に進行させたい」ととも強調した。

▼根源
第一次大戦下の1915年、英國はパレスチナを支配するオスマン帝国を切り崩すため、アラブ人に協力を図り、アラブ人に協力を図るために戦後の国家独立を支持することを約束した。一方、10年後はフランスもロンドンとオスマントルコ連邦との争奪戦で敗北した。

（ロンドン・共同）

英でパレスチナ連帯デモ

また10月7日以降、英國各地では毎週末に抗議デモが展開。18日もロンドンなどで即時停戦を訴えた。

妻親の自由が監視される

英國では今は日常的だ。た

ゞ今日はアラブ人だけでなく、ユダヤ人ヨルカーティー

ーも含めた多様な人々が黄

同。異なる思想や宗教の人々が大勢で声を上げるのは、2003年のイラク戦

争反対デモを想起させ

る。

右派の中心人物フレーバ

ーマン内相はデモを「ヘイ

トマーク（憎悪の行進）

と批判するなどして、13日

に解任された。ユダヤ人女性活動家ジエニー・ラン

ンさんは「憎悪の行進ではない。停戦を求める、あらゆるバックグラウンドの人々

が共に進行させたい」ととも強調した。

▼違反
15日夜、平日にもかかわらず議会議事堂前に多くのパレスチナ支持者が詰めかけた。下院（定数650）では即時停戦を求める動議の採決が行われてい

た。与党保守党を率いるス

タク首相と最大野党労働党

のスター・サムuel

も「人道的な戦闘休止」を

支持するが、より長期の停

戦はハマスを利用するとして

動議の採決が行われてい

た。与党保守党を率いるス

タク首相と最大野党労働党

のスター・サムuel

も「人道的な戦